お月さまと　ぞう

小川未明

青空文庫

正ちゃんと　よし子さんが、ごもんの　ところへ　たらいを　だして、水を　いれると、まんまるな　月の　かおが　うつって、にこにこと　わらいました。
「さあ、わたしを　よく　みて　ください。」
と、月が　いいました。
「大きな　お月さまね。」
と、よし子さんが　よろこびました。
「あの　くろいのが　うさぎかしらん。」
と、正ちゃんが　あたまを　かしげました。
「ほんとうの　うさぎ?」
と、よし子さんが　ききました。
「ああ、ぼうえんきょうが　あると、よく　わかるのだよ。」
正ちゃんは　あおむいて、お月さまを　ながめました。
「わたし、くびが　いたく　なるから、おたらいのを　みましょうよ。」
この　とき、あちらが　がやがやしました。
「ごらん、ぞうが　きた。」
と、正ちゃんが　びっくりしました。

大きな　ぞうが、おうらいを　あるいて　きました。サーカスが、どこかへ　いくのです。
ちかちか　ひかる、青い　きものを　きた　おねえさんと、くろい　ズボンを　はいた　男が、むちを　もって、ついて　きます。
「こわいわ。」
と、よし子さんは　おうちへ　はいろうと　しました。
「ぞうは　おりこうだから　こわく　ないよ。」
と、正ちゃんは　とめました。
ごもんの　まえに　くると、ぞうは　こちらを　むいて、ながい　はなで　たらいの　水を　すうと　のみほしました。
「あら、お月さまを　のんで　しまったわ。」
と、よし子さんが　いいました。
「おいたを　しては　いけません。」
と、ぞうは　おねえさんの　むちで、ピシリと　たたかれました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集　16」講談社
　1978（昭和53）年2月10日第1刷発行
　1982（昭和57）年9月10日第5刷発行
初出：「コドモノヒカリ」
　1937（昭和12）年10月
※表題は底本では、「お月《つき》さまと　ぞう」となっています。
※初出時の表題は「オ月サマト象」です。
入力：特定非営利活動法人はるかぜ
校正：Juki
2012年7月16日作成
2012年9月27日修正
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

お月さまと　ぞう

小川未明

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/